

Introduction

Tadashi Mori
2019.9.24
Ver.1.0

これ説明できますか？

- AI、機械学習、ディープラーニングの違い
- データサイエンティストとは
- ビジネスとデータの関係とは（目的意識）

Agenda

1. Python Cafeの目的とゴール
2. AI、機械学習、ディープラーニングの違い
3. データサイエンティストとは？
4. ビジネスにデータがどう活かされているのか？
5. 分析プロセス・アルゴリズム
6. 教師あり学習 回帰
7. 教師あり学習 分類
8. 過学習・評価指標
9. 最終課題・最終プレゼン

1.1. Python Cafeの目的とゴール

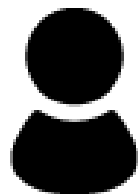
目的：関係性について

「アルムナイ・リレーションシップ」という立場で三菱自動車と関係性を保ち、会社の成長への寄与と新しい価値観を共有していく。

参考：<https://news.mynavi.jp/article/20181208-736941/>

目的：Win x Winな関係

僕



- ・インプットしたことをアウトプットすることで知識の定着化と理解を深める
- ・人に教えるワザを磨く

みなさん



- ・データ分析、機械学習の世界がイメージできるようになる
- ・データサイエンティストのスターターになれる

ゴールイメージ（メンバー）

- ❶ データサイエンスに関する言葉を知る。理解する。
- ❷ Python(jupyter notebook)の使い方を知る。
自分で調べてコードの書き方やエラー解決ができるようになる。
- ❸ 単純な業務用データを活用して、アウトプットできるようになる。
アウトプットの根拠が説明できるようになる・・・？

ゴールイメージ（マネジメント）

- ❶ 活動結果を数値で評価する。
- ❷ 社内活動（部内教育）ができる仕組みのネタとする。
- ❸ 単純な業務用データを活用したアウトプットのプレゼンに対して良し／悪しを判断できる・・・かも・・・

数値評価

- データサイエンススキルチェックで成長ぶりを振り返ろう
できれば、下記URLを実施して、最初と最後の自分の成果を振り返ってみてください。

<https://check.datascientist.or.jp/skillcheck-full/>

スケジュール

day1	イントロ 予測 統計学によるCS分析 アンケート調査結果 統計学の触りを知る	day5	分類 サポートベクターマシン 手書き文字データ スクリプト実行、読み解く
day2	予測 単回帰・重回帰 Bostonデータ jupyter notebookに慣れる	day6	予測 オープンデータ活用 決定木・ランダムフォレスト データクレンジング（欠損値処理）を学ぶ
day3	分類 ロジスティック回帰 Irisデータ jupyter notebookに慣れる	day7	最終プレゼンの事前学習 これまでの振り返り
day4	過学習について ホールドアウト法、交差検証 検証方法について 評価指標	day8	最終課題のプレゼン 目的の達成度確認

2. AI、機械学習、ディープラーニングの違い

AI、機械学習、ディープラーニングの違い



・ AIは、処理をプログラムで定義した技術として広い意味で解釈される

・ 機械学習は、処理（振る舞い）をコンピューターが学習すること

・ DLは、ニューラルネットワーク技術を用いて、処理（振る舞い）をコンピューターが学習すること

機械学習（DL）は3つに区別される

機械学習の学習方法

<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1901/07/news015.html>



3. データサイエンティストとは？

データサイエンティストとは

データサイエンティストとは、**大量のデータ（ビッグデータ）からビジネスに活用できる情報を引き出す**専門技術者のこと。

データサイエンティストは、**ビッグデータの分析及び分析結果をもとに、問題の解決や状況改善のための施策立案**を行う。

データサイエンティストに 求められるスキルセット

情報処理、人工知能、統計学などの
情報科学系の知恵を理解し、
使う力

データ
サイエンス 力
[data science]

ビジネス 力
[business problem
solving]

課題背景を理解した上で、
ビジネス課題を整理し、
解決する力

データ
エンジニア
リング 力
[data
engineering]

データサイエンスを意味のある
形に使えるようにし、実装、
運用できるようにする力

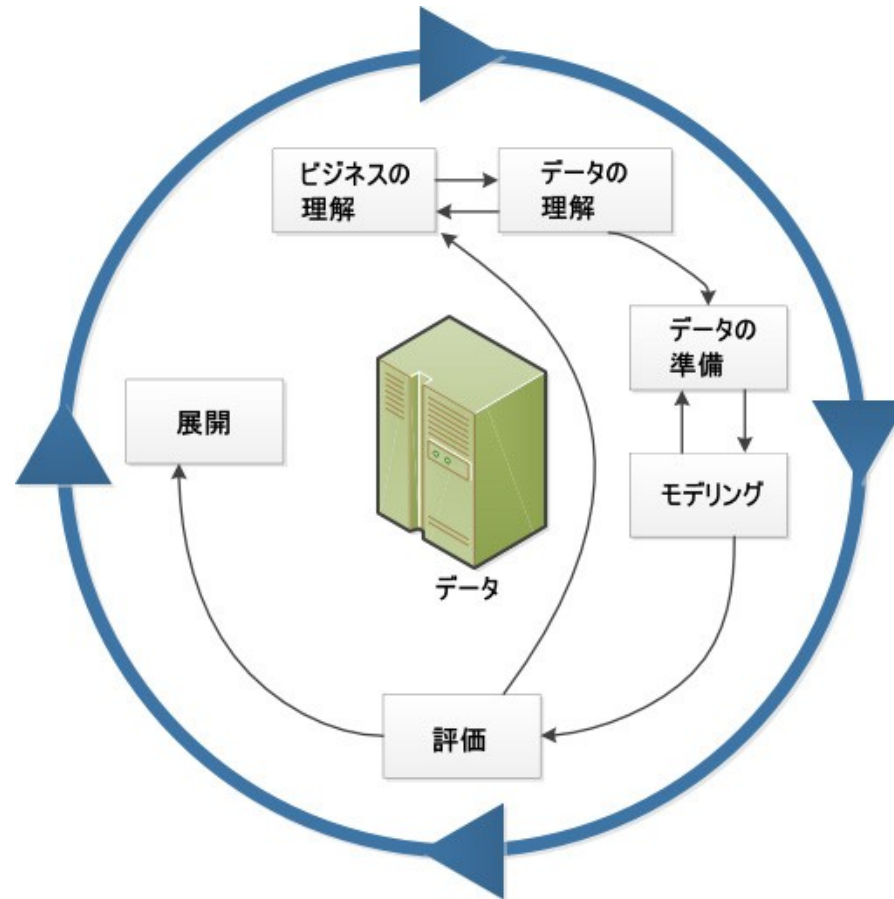
4. ビジネスにデータがどう活かされているのか？

ビジネスにデータがどう活かされているか



5. 分析プロセス・アルゴリズム

CRISP-DM



学習フェーズ、推論フェーズ

推論フェーズ

学習フェーズ

学習データ
(X, y)

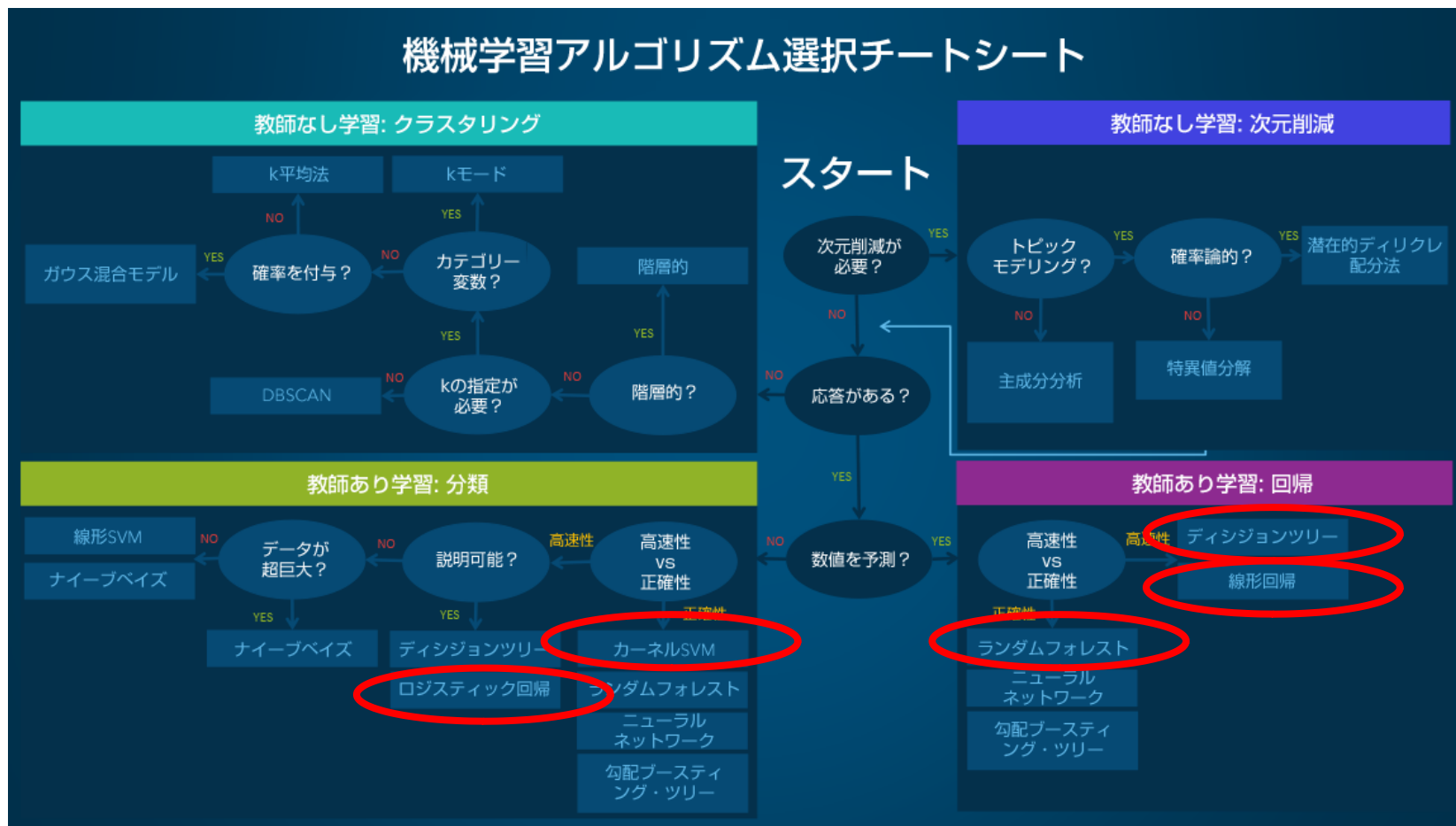
学習
(アルゴリズム)

学習モデル
($y = f(X)$)

結果
(予測、分類)

未知データ
(X)

アルゴリズム



6. 教師あり学習 回帰

線形回帰・重回帰

決定木・ランダムフォレスト

7. 教師あり学習 分類

ロジスティック回帰

サポートベクターマシーン (SVM)

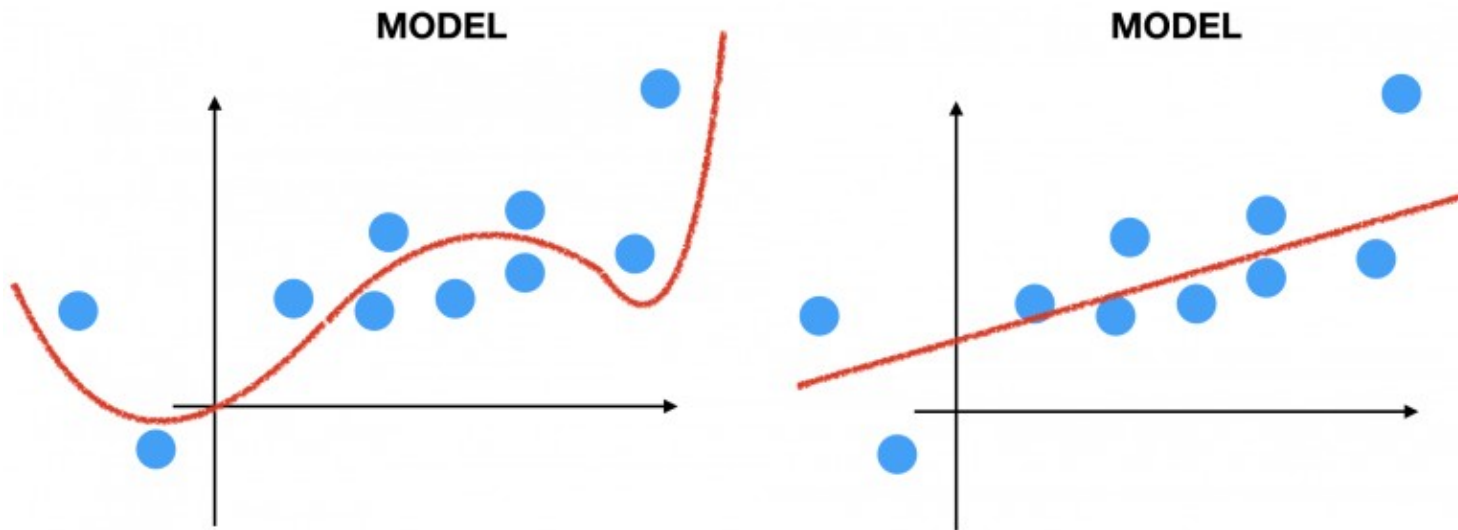
8. 過学習・評価指標

過学習とは

過学習（Over fitting）とは、学習データに適合しすぎたモデルのこと。

未知のデータに対して汎化能力が低下している。

機械学習は過学習との戦いとも言われる！



ホールドアウト法

交差検証（クロスバリデーション）

評價指標

9. 最終課題・最終プレゼン

最終課題・最終プレゼン

- ◆ どういう目的で参加したか
- ◆ 学んだこと（言葉の説明、モデリングの説明）
- ◆ データサイエンティストスキルチェックの結果
見せなくてもOK！
- ◆ 感想
- ◆ プレゼンのフォーマットは自由
jupyter notebookを使うのが好ましい！

END

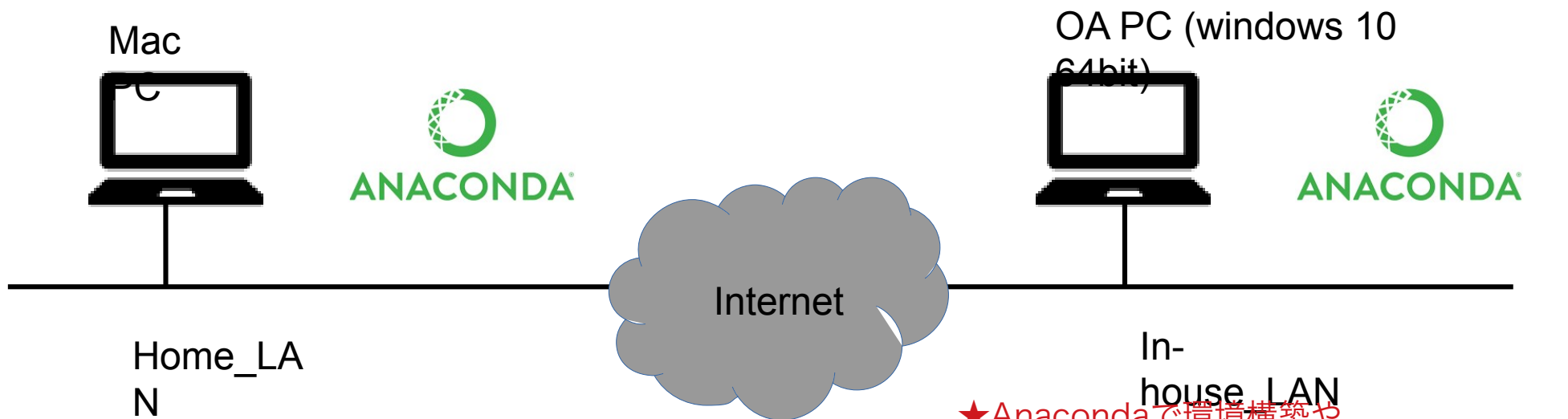
コミュニケーション方法

Tools	Advantages	Disadvantages
Skype	<ul style="list-style-type: none">・画面共有できる・扱いやすい・グループ接続可能	<ul style="list-style-type: none">・ for Businessと一般とで制限がある・ for BusinessのWeb版で繋がるかも？
Googleハングアウト https:// https://hangouts.google.com/ ファイル共有はBoxを活用する https://app.box.com/folder/87062787914	<ul style="list-style-type: none">・画面共有できる・ブラウザで動作・グループ接続可能 https://cloud-work.jp/productivity/google-hangout/	<ul style="list-style-type: none">・ IEはプラグインをインストールしないといけない（管理者権限が必要かも・・・）

プログラミング環境

講師側

受講者側



★Anacondaで環境構築や
パッケージインストールなどするので
一定期間の管理者権限付与が必要と思われ
る